

くまとり 民児協だより

第58号

発行 熊取町民生委員児童委員協議会
編集 広報部 会

〒590-0495

熊取町野田1丁目1番1号

熊取町役場本館1階生活福祉課内

電話 (072)493-8039

FAX (072)452-7103

ご存じですか？

我が町の子育て支援

5/14

北小校区

委員11人と有志4人は、

煉瓦館でくまとり子育て応援

援tokotoko(トコ

トコ)4団体から、活動内

容や取り組み現況をお聞きし

ました。

①つどいの広場“ぷらっつ”

(NPO法人くまとり子

育ちWA・輪・和)

ぷらっと気軽に来て、遊

んだり、おしゃべりしたり、

ほっこりゆったりした時間

を過ごす場を提供します。

●場所は、教育子どもセン

ター内

●対象は、概ね3歳未満の

児童及び保護者(父母で

なくてもOK)

●開催は、月・火・木・金

で必ず保護者同伴

●スタッフは、ぷらっつを

利用していたお母さんた

ち

②“であいの広場”くまとり

ランド

(NPO法人地域支援セ

ンターくまとりランド)

自由遊び・親子のふれあ

い遊び・みんな遊びを通し

て楽しく過ごせる場を提供

します。

●場所は、五月ヶ丘の住宅

地内

●対象は、0歳から小学生

未満(おじいちゃん・お

ばあちゃんの参加OK)

●開催は、月・火・木・金

●転入家庭の利用が多く、

育児の孤独からの解放と

お互い様の精神で運営

●「産前産後ヘルパー派遣

事業」は妊娠届出日から

産後1年未満で、家事や

育児が困難な母親を援

助・サポートし、利用者

の自宅に訪問します。

(要自己負担)

③ファミリー・サポート・

センターくまとり

(NPO熊取こどもとお

となのネットワーク)

子育てを手伝ってほしい

人(依頼会員)と子育ての

手助けができる人(協力会

員)をつなぐお手伝いをし

ます。

●場所は、教育子どもセン

ター内

●対象は、生後57日から小

学6年生まで

●養成講座を受講した協力

会員が、幼・保育所の送

迎や保護者の急な病氣、

育児疲れでリフレッシュ

が必要な時などに自宅で

預ってくれます。(要利

用料)

④ホームスタート事業

(NPO法人ホームビジ

ット・とんとん)

地域の子育て経験者が37

時間の養成講座を受講後、

「傾聴」と「協働」の家庭訪

問型子育て支援ボランティ

アとして活動します。

●場所は、教育子どもセン

ター内

●週1回2時間程度、概ね

4回訪問し、「話を聞く」

「家事や育児を一緒に行

う」などの活動を通し子

育てを応援するが、代行

はしない。(無料)



当日の会議風景

今回、子育て支援の4団体から、活動を通していろいろな課題があることなど貴重なお話を聞くことができました。

私たち民生委員児童委員も、これを契機に該当家庭への周知など、情報提供に努めていきたいと思えます。

【井上 文明】

ふたたび始まる園児との交流

楽しい行事に参加して

西小校区

西小校区では、町立保育所の民営化、コロナ禍などで、約4年間保育所との交流が途絶えていました。

令和6年に、校区内のすみれ保育園との交流がはじまりました。

最初の1年は、どんな形で交流ができるか、試行錯誤しながら進めていきました。そして、3つの行事をお手伝いすることになりました。

①夕涼み会 8月24日

2〜5歳児クラスの園児たちと保護者が参加。たこせん・ポップコーン・ヨーヨー釣り・スーパースポールすくい・輪投げ・金魚すくいなどたくさん夜の夜店が出ました。ポップコーンでは豆と塩を入れ、機械でポンポンはじけたのを袋に入れた。

るお手伝いをしました。

とても人気で、出来上がるのを待つ人で長蛇の列ができていました。

最後に花火の打ち上げがあり、夏の夜に楽しい思い出ができました。



けん玉に挑戦する園児たち

②むかし遊び 9月2日

輪投げ・けん玉・あやとり・お手玉など、子どもたちのころに遊んだことを

思い出しながら、園児たちと一緒に盛り返りました。

けん玉ではいろんな技ができる子どもがいて、

みんなでその技に挑戦しました。できたときは大きな歓声があがりました。

③もちつき大会 12月7日

保護者のお父さんたちが臼と杵でおもちをついてくれました。

最初、もち米を蒸し過ぎてべとべとのもちになりましたが、徐々にうまくつけるようになりしました。

出来上がったおもちを湯通ししてお手伝いをし、砂糖醤油やきな粉を園児たちと一緒にまぶして、おいしくいただきました。

昔ながらの季節の行事を子どもたちに伝えていくことも大事な一つだと実感しました。

【清原 理恵】

楽しかった

園児とのふれあい

南小校区

5月19日

アトム保育園の園児たちとさつま芋の苗を植えました。

マルチビニールの穴に苗を入れて土をかぶせる作業に園児たちは奮闘していました。

10月23日

秋晴れの中、さつま芋の収穫をしました。

園児たちは芋を前後左右に動かして、苦労しながら



力を合わせて芋ほりをする園児たち

なんとか引き抜いていました。

自分たちが育てた芋を収穫する貴重な体験をすることができました。

11月22日

焼き芋パーティーが開催されました。

午前中に燃やしたみ穀の中に入れた芋を、昼から取り出して試食しました。

園児たちはフーフーしながらおいしそうに食べていました。

また、保育園の職員とも交流ができ、楽しい1日を過ごすことができました。

3月13日

キャンディBOXの製作を園児たちと行いました。終わりに、園児たちが歌を披露してくれて、爽やかな気分での帰りにつきました。

【下中 計宏】

『詐欺にご用心!!』

寸劇でアピール

2/9

中央小校区

恒例の福祉委員会主催の「ふれあいの集い」がキティーネホールで、高齢者182人を招待し、開催されました。

民生委員児童委員の出し物として、今回は近年多発している特殊詐欺への注意喚起を寸劇でアピールしようということになり、実体験や情報を出しあつて題材を選び、シナリオを作成しました。

幕が上がり、最初に登場したのは、屋根の修理を執拗に迫る『悪徳リフォーム業者』の2人組。応対した主婦花子さんは一歩も譲らず「親戚の業者に頼むから」と機転を利かせ見事撃退。2人組が帰った後にやってきた友人2人に話をすると、友人の1人が先日『パソコンサポート詐欺』



詐欺にあわないためのアピール

にあいかけた体験を披露。その場が詐欺情報で大いに盛り上がりました。

友人が帰ると、今度は役場の職員を名乗る人物から還付金が入ると言われ、思わず乗りそうになる、人の良い夫。側で聞いていた妻の花子さんが『還付金詐欺』だと見抜き危うく難を逃れます。

最後に、ナレーターと黒子が登場し、ストーリーを振り返りながら「詐欺にあわないための4カ条」を紹介しました。

頭文字を取った合言葉「うそつき」を一文字ずつ

子ども安全パトロール 通学路を検証しました

5/6

東小校区

今年度は、五月ヶ丘小学校までの通学路の安全マップの検証を行いました。

民生委員児童委員、子ども見まもり隊、自治会役員、PTA役員、町議会議員他関係者26人が参加しました。

検証した結果、五月ヶ丘通学路は

- ①道路幅が狭く通学路が整備されていない。
- ②起伏と曲がり角が多く見通しが悪い。
- ③外環状線への抜け道に利用され、車の通行量が多



雨の中通学路を検証する参加者

記したうちわを黒子が掲げてしっかりとアピールし、幕となりました。

今後も民生委員児童委員は力を合わせ、地域の安全を見守っていきます。

【深野 敏子】

ということがわかりました。

このような環境下で、39人の小学生が毎日通学しています。

次に危険箇所である久保交差点を検証しました。

この交差点は、主に五月ヶ丘・大宮・久保地区の小中学生や通勤通学の車・バイク・自転車が頻繁に通ります。

信号がなく、横断歩道注意喚起灯や車のスピードを落とすためのポールを設置して、安全の確保に努めています。十分ではありません。

この交差点では登下校時に、子ども見まもり隊などの人たちが、通学の安全を見守っています。

子どもの安全を守るには子ども自身が交通规则を守るとともに、家庭や地域の人々の協力が重要であると、今回の通学路の検証で改めて実感しました。

【山中 太嘉治】

『通電火災』って

ご存じですか!?

9月1日
「防災の日」

今年には阪神淡路大震災から30年にあたります。

熊取町に住んでおられる皆さんに多大なる被害を及ぼす南海トラフ巨大地震はかなりの確立で発生するといわれています。

皆さん、大地震発生直後に行動すべきことを今一度復習してみましょう。

● 自分自身の安全確保

● 家族の安全確認

● 火元の始末

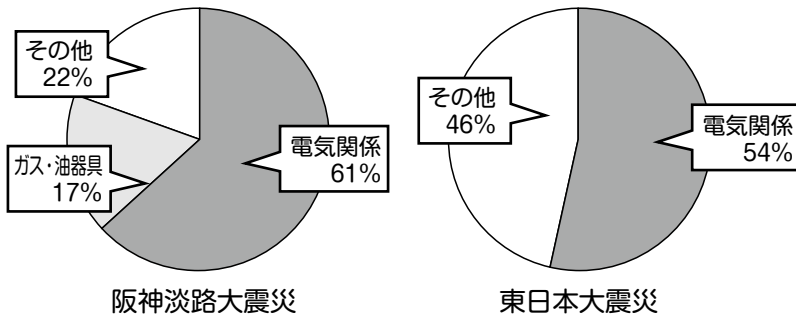
● 出口(脱出口)の確保

その他いろいろと実施しなければならぬことが頭に浮かんできませんか?

余震等が続き、この後に避難をするのですが、この時に忘れてはいけないのが家の電気ブレーカーを切ることです。

地震により停電が起きます。その後、電気が復旧して電気が通ったことにより

火災の発生原因 特定された原因(内閣府資料より)



発生する火災が『通電火災』です。

大地震後に発生する火災原因は、近年では灯油・ガス器具類ではなく、電気起因する火災が約5割以上と多くなっています。

【通電火災発生要因】

● 停電の復旧に伴い地震によって散乱した室内で、電気ストーブや照明器具に電気が通り、近くの可燃物に着火し火災発生。



● 地震により電気配線の被覆や電気機器本体が損傷している状態で、電気が通り火災が発生。そして、その火花が可燃物や漏れているガス等に引火して火災発生。



【通電火災防止方法】

● 地震発生後、避難時は電気ブレーカーを切る。

● 地震を感じて自動的にブレーカーを遮断し電気を止める感震ブレーカー(簡易的な物からブレーカーに内蔵されている物も市販されています)がありますので設置を考慮してください。



大地震発生後避難時
電気ブレーカーを切る

【その他】

家族で電気ブレーカーの位置と切断方法を確認する。地震が発生して電気ブレーカーを切る時は、ガス漏洩防止・水道漏水防止のためにガス・水道の元栓も閉めて下さい。

なお、いずれの復旧にも十分に自宅の安全を確認した後に実施してください。

【田中 豊】

編集後記

平成27年に広報部会に入りましたが、当初は何をしたらよいのか解らず、記事を書いてダメ出しの連続でした。

令和2年のコロナ禍で、行事や委員活動ができない中、「民児協だより」の休刊が続行かで議論しましたが、地域の皆さまとの繋がりを無にできないとの結論に至り、発行を続けることにしました。

しかしながら、3年ごとの改選により、委員の半数以上が交代し、編集作業は苦労の連続でした。

それでも、読売新聞社で新聞のつくり方を学んだり、先輩委員からのアドバイスにより、各委員がスキルアップに努めました。

最近では、広報部会も和気あいあいとした雰囲気、研修や編集作業に取り組むことができるようになり、良い思い出がたくさんできました。

【佐藤 照子】